

平成30年度「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の事業評価について

事業の概要

東日本大震災によって、いまだ仮設住宅等における生活を強いられている地域があり、復興に向けての学習支援等が必要であるため、被災地における子供の学習環境の好転や仮設住宅とその周辺地域とを結ぶ地域コミュニティの復興促進を図る事業。

【こども部での対象事業】

- ・郡山市震災後子どものケアプロジェクト（15,590千円）
子どもの明るく健やかな成長を促す環境整備を図るため、子どもや保護者等に対しての心のケア相談会、遊びと運動の実技に関する講演会や研修会等を開催する。
- ・地域子ども教室（25,031千円）
地域の参画を得ながら、子どもたちに勉強・スポーツ・文化活動等の場を提供し、放課後の児童の安全で健やかな居場所づくりに取り組む。

【交付に必要な手続き】

「評価・検証委員会」を設置し、被災地における課題解決に向けての明確な目標設定や効果測定、事業の評価・検証を実施する。



上記事業は、「郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」実施計画にも該当していることから、子ども・子育て会議において評価・検証をする。

各事業の目標等

【郡山市震災後子どものケアプロジェクト】

(1)目標

- ・子ども及び保護者が抱えている震災等に起因する心の不安を解消するとともに、事業をとおしてつながりを増やし、地域コミュニティの形成につなげる。
- ・未就学児童の運動等の状況を把握し、運動あそびをさせることにより、後の体力・運動能力を全国平均程度まで上昇させる。

(2)活動内容

- ・心のケアに関する相談会や、絵本の読み聞かせの実施
- ・運動実技講演会及び研修会の実施
- ・運動と生活習慣に関するアンケートの実施

(3)効果測定方策

- ・運動と生活習慣に関するアンケートの回答集計
- ・各種活動の参加者数の集計や実務者からの意見聴取

【地域子ども教室】

(1)目標

子ども教室における地域住民との交流や、各種体験事業の実施により、子どもたちが、地域住民との関わりを持ち、地域行事へ積極的に参加することで健全育成を図る。

また、子どもたちへの学習支援や読書活動を通して、自主学習や読書の習慣を身につけさせる。

- ・地域行事に参加した児童の割合 80%以上
- ・学習・読書の習慣が身に付いた児童の割合 80%以上

(2)活動内容

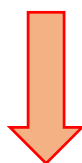
- ・公民館等が開催する行事への地域子ども教室入会児童の積極的な参加
- ・児童の学年に応じた適切な学習支援や読書時間の設定及び継続的な実施

(3)効果測定方策

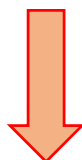
- ・入会児童及び保護者に対するアンケート調査の実施
(内容：地域行事への参加状況、学習・読書時間等)

平成30年度郡山市震災後子どものケアプロジェクト事業 評価・検証方法について

1. 事業実績を基に業務受託者が自己評価
(平成31年3月上旬：完了)



2. 受託者の自己評価を基に業務委託者（市）が評価
(平成31年3月中旬：完了)



3. 受託者・委託者の評価を基に、子ども・子育て会議に
おいて客観的な評価
(平成31年3月28日)

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

平成 31 年3月 22 日

【受託法人名】

NPO法人ハートフルハート未来を育む会

【受託業務名】

臨床心理士による心のケア相談会実施業務

【事業概要】

事業内容	<p>① 子育てに関する心のケア相談会 年10回、当該月の第1月曜日に郡山市元気な遊びのひろば(ペップキッズこおりやま)において、そこを利用する保護者等からの震災等に起因するものも含めた子育てに関する相談を受ける。</p> <p>② 親子あそびと親ミーティング 年7回、ニコニコこども館において、保育士との親子あそびでストレスを解消しつつ、臨床心理士と親がミーティングを行い、震災等に起因するものも含めた心の不安等についての相談を受ける。</p> <p>③ 保育士からの子どもに関する相談会 年6ヶ所延べ12回、公立保育所において、保育士から、震災に起因するものも含めた心の悩みや気になる児童の保育方法等についての相談を受ける。</p>																																																																																																
事業費	1,799,344 円 (H30 年度)																																																																																																
意図	臨床心理士が子どもの発達や問題行動、保育方法など、子育てに関する相談を受けることにより、震災に起因するものも含めた保護者等の心の不安を取り除くとともに、保護者や保育士が、子どもの心と体のすこやかな発達をより適切に促す。																																																																																																
対象	<p>① 郡山市元気な遊びのひろば(ペップキッズこおりやま)を利用する保護者</p> <p>② 就学前の子ども及びその保護者</p> <p>③ 公立保育所の保育士</p>																																																																																																
事業実施結果	<p>① 相談件数</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>合計</td><td></td> </tr> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>-</td><td>5</td><td>-</td><td>28</td><td></td> </tr> </table> <p>② 参加人数 (内は個別相談件数)</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>-</td><td>22(3)</td><td>18(0)</td><td>-</td><td>32(2)</td><td>26(1)</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>合計</td><td></td> </tr> <tr> <td>-</td><td>27(2)</td><td>-</td><td>28(2)</td><td>-</td><td>未(未)</td><td>153(10)</td><td></td> </tr> </table> <p>③ 開催箇所数 (内は相談を受けたクラス数)</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>-</td><td>1(1)</td><td>1(2)</td><td>2(2)</td><td>1(1)</td><td>1(1)</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>合計</td><td></td> </tr> <tr> <td>1(1)</td><td>2(3)</td><td>1(2)</td><td>1(1)</td><td>1(1)</td><td>-</td><td>12(15)</td><td></td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月			2	3	2	2	3	3			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		3	3	2	-	5	-	28		4月	5月	6月	7月	8月	9月			-	22(3)	18(0)	-	32(2)	26(1)			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		-	27(2)	-	28(2)	-	未(未)	153(10)		4月	5月	6月	7月	8月	9月			-	1(1)	1(2)	2(2)	1(1)	1(1)			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		1(1)	2(3)	1(2)	1(1)	1(1)	-	12(15)	
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																												
2	3	2	2	3	3																																																																																												
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																											
3	3	2	-	5	-	28																																																																																											
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																												
-	22(3)	18(0)	-	32(2)	26(1)																																																																																												
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																											
-	27(2)	-	28(2)	-	未(未)	153(10)																																																																																											
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																												
-	1(1)	1(2)	2(2)	1(1)	1(1)																																																																																												
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																											
1(1)	2(3)	1(2)	1(1)	1(1)	-	12(15)																																																																																											

【事業実施結果による自己評価】

①子育てに関する心のケア相談会 10回開催

相談件数は、昨年度24件に対して今年度は28件で4件増加した。増加したのは、子育て相談ができる心理士が館内を回っていることが利用者の方たちに定着してきたため、親御さんの方から相談してくるが増えたことや、心理士が声を掛けると以前にもまして気軽に困っていることを相談してくれるようになったことが考えられる。

更に、その相談内容の分類を見ると「子育て」に関するもの17件、「発達」2件、「(情緒)問題行動」3件、「その他」6件であった。「その他」というのは、プレーリーダーからの相談で、気になる(心配な)利用者親子についての相談がほとんどであった。

開所後7年が経ち、プレーリーダーのスキルも上り、親子の問題を感じ取ってどうしたら良いのかアドバイスを求めている。プレーリーダーを支援することで、間接的により多くの親子の役に立つことができたのではないかとと思われる。

心配なケースは、市事務所やペップキッズのスタッフと情報の共有を図って良好に実施できた。

②親子あそびと親ミーティング 7回開催

参加者の数は、昨年と同様。毎回定員オーバーで開催している。親子遊びと親ミーティングでは、はじめての参加者とリピーターの方が混在しているが、お互いに子育ての苦労を共感しアドバイスしあって、皆さん満足した様子で「楽しかった。また参加したい」とおっしゃって帰っていく。ストレスが解消でき愛着も強まるので、子どもたちは落ち着き、親も余裕を持って子育てができるようになるのが、継続して参加している親子のようすから観察できた。

個別相談を希望する保護者さんには心理士が応じているが、言葉が遅く検診に引っかかるのではないかと不安や、検診で発達に問題があると指摘されショックを受けたという主訴が聞かれ、そうした検診のフォローにも役立っている。

また、3ヶ月から3歳までの子どもが対象になっているのだが、震災後放射線を心配して子どもを外に出さなかった影響が今も残っていて、子育てママが集まって子どもを遊ばせ育児談義を繰り広げた公園の機能がなくなっているため、この支援の果たす役割は大きい。保育士と心理士という専門職がサポートするので、より発達を見守り促すことができているのではないかと考える。

市との情報共有が必要なケースは担当者に伝えており、良好に実施できた。

③保育士からの子どもに関する相談会 12回開催

昨年同様に、6ヶ所延べ12回、保育所に臨床心理士が2名で出向き、保育士から相談を受け、クラスの様子を観察し、気になる子どもへの対応の仕方や、保育上の工夫点、保護者への伝え方などのアドバイスを行った。また同所に半年後に出向きその効果の検討を行ったが、おおむね改善されていた。保育に自信を持って取り組みたと、保育士の方々から感想を言っていた。

震災後、「気になる子」の増加で児童精神科の発達外来の受診は、どこも長期に待たされることになっている。保育現場ではその間も日々養育し、子どもの成長は待たない。保育所内でその子どもの成長を守ろうと工夫せざるを得ない。臨床心理士が観察し、見立てと対応の助言を行うこの支援がそうした現状に資するものとなって良好に実施できた。

【今後の課題等】

- ① 子育てに関する心のケア相談会
プレーリーダーをサポートすることにもっと力を入れると、より多くの親子を支援できる。スタッフとの連携方法を工夫する事が課題になる。
- ② 親子あそびと親ミーティング
もっと多くの親子に参加してもらえよう、もっと広い空間の会場を市の支援課と検討したが、結局現在のところしかないとなった。とすると開催回数を増やす事が必要だが、困難な課題だ。
- ③ 保育士からの子どもに関する相談会
より多くの施設に応じるための実施方法を引き続き検討する。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

本事業は、子ども、保護者及び支援者の総合的な心のケアを目的としている。

子育てに関する心のケア相談会は、ペップキッズこおりやまにおいて継続的に実施しているため、子どもを遊びに連れて行くと同時に気軽に相談できる環境として、来所者に浸透してきたと認められる。

親子遊びと親ミーティングについては、毎回定員を超える参加者となっており、子育て中の保護者にとって、子育ての悩みの相談や保護者同士の情報共有などができる有意義な場となっている。

保育士からの子どもに関する相談会については、発達障がいやその疑いがある児童が多くいるクラスにおいて、保育士の悩みを聞き、児童を観察・把握した上で、児童へのかかわり方やクラス運営、保護者へのアプローチ等について、それぞれの保育士や保育所に合わせたアドバイスを受けることができた。その結果、保育士の悩みの解消や保育の質の向上、児童の健やかな成長・発達につながっている。

上記のとおり、家庭における子どもが学び育つ環境が好転できるよう、心に不安を抱える保護者等に対しきめ細やかなケアをすることができているとともに、親同士の交流により地域コミュニティの復興に寄与していることから、本事業は良好に実施されたと認められる。

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

平成 31 年3月 22 日

【受託法人名】

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

【受託業務名】

運動実技講演会及び研修会実施業務

【事業概要】

事業内容	<p>子どもたちが自ら楽しんで体を動かし遊ぶことができるよう導くことができる指導者(プレイリーダー)を養成し、日常的に利用する施設等において実践できるよう、以下の事業を行う。</p> <p>①講演会 運動あそびの指導者として必要な理論的背景を学ぶため、30 分程度の講義を受講する。</p> <p>②研修会 子どもたちの運動量の確保と運動あそびの技術向上のため、幼児期運動指針と郡山市版幼児期運動実践プログラムに基づく実技を学ぶ。</p> <p>③保育施設等を活用した親子の運動あそび 保護者が子どもとともに自宅で運動遊びを実践できるよう、保育施設等で親子に直接運動実技を指導する。</p>																																																								
事業費	2,099,520 円 (H30 年度)																																																								
意図	震災後、子どもたちの運動量が減少し、体重の増加や体力の低下が見られたことから、子どもの運動に関するエキスパートを養成し、子どもたちにフィードバックすることで、運動機会の増加や、十分な運動量を確保できるようにする。																																																								
対象	全市民																																																								
事業実施結果	<p>講演会及び研修会参加人数:318 人</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>カルチャーパーク</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table> <p>親子の運動遊び参加人数:60 人</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>田村町つつみ幼稚園</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>尚志緑ヶ丘幼稚園</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>						月	場所	参加人数	4	—		5	ニコニコこども館	10	6	ニコニコこども館	16	7	ニコニコこども館	31	8	—		9	ニコニコこども館	64	月	場所	参加人数	10	ニコニコこども館	15	11	ニコニコこども館	21	12	ニコニコこども館	31	1	ニコニコこども館	18	2	ニコニコこども館	20	3	カルチャーパーク	92	月	場所	参加人数	6	田村町つつみ幼稚園	36	7	尚志緑ヶ丘幼稚園	24
月	場所	参加人数																																																							
4	—																																																								
5	ニコニコこども館	10																																																							
6	ニコニコこども館	16																																																							
7	ニコニコこども館	31																																																							
8	—																																																								
9	ニコニコこども館	64																																																							
月	場所	参加人数																																																							
10	ニコニコこども館	15																																																							
11	ニコニコこども館	21																																																							
12	ニコニコこども館	31																																																							
1	ニコニコこども館	18																																																							
2	ニコニコこども館	20																																																							
3	カルチャーパーク	92																																																							
月	場所	参加人数																																																							
6	田村町つつみ幼稚園	36																																																							
7	尚志緑ヶ丘幼稚園	24																																																							

【事業実施結果による自己評価】

本事業は、子どもの保育・教育現場に従事する関係者への具体的支援であり、昨年度の評価同様に、下記のような成果が上がってきていることから、良好に実施された。

①講演会及び②研修会

運動遊びの指導者あるいは、保育・教育現場に従事する関係者にとって必要な理論が周知され、例えば、各現場で運動の機会を確保する、体力テストを確実に実施する、保護者の参加を促す、さらに家庭での取り組みの促しなどが行われるようになった。

③保育施設等を活用した親子の運動遊び

保育・教育現場に運動等の専門家が訪問・指導する事業は他にも行われているが、震災当初から同じメンバーが携わることにより、現場との連携がより密接になり、現場での遊びの重要性の認識が図られてきた。

今年度は保育系専門学校や放課後デイサービス、広域連携圏域内の施設にも案内したところ、専門学校生からは「多くの学びがあった」、「現場ですぐに使える内容なのがあるがたい」、「子どもと接する際の考え方が変わった」などの感想があった。

さらに、実施した内容はホームページ等で閲覧出来るように配慮し、参加出来なかった関係者へも情報提供している。

【今後の課題等】

- ・プレイリーダーの重要性の認識においては個人差があり、現在は参加者の都合に左右される。特に開催曜日の問題があり、土曜開催のため勤務先のシフトの関係で毎回出席するのが難しい場合もあり、今後は施設単位で参加を促したい。
- ・参加者が所属施設に持ち帰り、研修内容を施設で共有できるかどうかは、参加者の経験年数などに依存する傾向も見受けられるため、若手の参加者が複数回参加できるような工夫も必要である。
- ・保育現場への出張研修を行っているが、施設側都合とのマッチングが難しく、今後より積極的な調整が必要である。
- ・本事業を受講した一部の保育施設等からは、同施設へ派遣の希望があることから、このようなニーズに対応するような手法を検討する必要がある。
- ・本事業は非常に有用な事業と思われるので、市外(特に本市と広域連携を結ぶ市町村)からの参加者を募ることも重要であると考えます。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

受講者が自身の所属する施設において、本事業で学んだ遊び方等をフィードバックし、子どもたちの運動量を増進することで、子どもたちが運動あそびを通して体の動かし方を学ぶ機会を確保できていると認められる。

また、保育・教育現場に運動等の専門家が訪問し、親子遊びを直接指導することで、親子間のふれあいが生まれているとともに、その施設に通所する親同士のつながりも増え、地域コミュニティの形成にも役立っている。

なお、上記直接指導に関するカリキュラムも導入 3 年目を迎え、複数の保育施設での実施となり、前年度同等の親子が参加していることから、本事業は良好に実施されたと認められる。

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

(平成 30 年度事業分)

平成 31 年 3 月 22 日

【受託法人名】

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

【受託業務名】

絵本の読み聞かせ実施業務

【事業概要】

事業内容	ニコニコこども館、各地域子育て支援センター、ペップキッズこおりやまなど、郡山市が指定する子育て関連施設において、親子を対象に年間 96 回、1回 30 分程度の絵本の読み聞かせやわらべ歌、指人形劇等を実施する。 また、読み聞かせ者、及び子育て関連施設との連絡調整を行う。																																										
事業費	521,640 円 (H30 年度)																																										
意図	幼児期に絵本を読み聞かせることにより、言葉や情操の発達を促す。 また、本事業をきっかけに、家庭における読み聞かせを普及し、親子の触れ合いがより深められるようにする。																																										
対象	市内各子育て関連施設に来所した親子																																										
事業実施結果	読み聞かせ実施回数:年間 96 回 参加人数:延べ 2,023 人(平成 31 年 2 月末現在) <table border="1"><thead><tr><th>月</th><th>回数</th><th>参加人数</th><th>月</th><th>回数</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>4</td><td>8</td><td>174</td><td>10</td><td>9</td><td>213</td></tr><tr><td>5</td><td>9</td><td>162</td><td>11</td><td>8</td><td>184</td></tr><tr><td>6</td><td>8</td><td>232</td><td>12</td><td>7</td><td>138</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>225</td><td>1</td><td>8</td><td>191</td></tr><tr><td>8</td><td>7</td><td>166</td><td>2</td><td>8</td><td>152</td></tr><tr><td>9</td><td>8</td><td>186</td><td>3</td><td>8</td><td>未</td></tr></tbody></table>	月	回数	参加人数	月	回数	参加人数	4	8	174	10	9	213	5	9	162	11	8	184	6	8	232	12	7	138	7	8	225	1	8	191	8	7	166	2	8	152	9	8	186	3	8	未
月	回数	参加人数	月	回数	参加人数																																						
4	8	174	10	9	213																																						
5	9	162	11	8	184																																						
6	8	232	12	7	138																																						
7	8	225	1	8	191																																						
8	7	166	2	8	152																																						
9	8	186	3	8	未																																						

【事業実施結果による自己評価】

本事業は、平成26年度から継続的に業務を受託しており、毎回多くの参加をいただいている。参加者からは、読み聞かせの重要性や読み聞かせの方法が理解できたなどの意見をいただいた。

活字離れがすすみ、子どもの環境にますますスマホやゲームが浸透している現状があり、絵本の読み聞かせ活動を今後さらに積極的に行わなければならない。また、絵本の読み聞かせは母子関係を構築する有効な方法であり、これらの事を参加者に認識させることができたのは大変有意義である。

震災から時間は経過しているが、落ち着かない子どもや保護者もあり、母子それぞれの特徴や個性に配慮しながら読み聞かせることにより、言葉や情操の発達への導きやさりげないアドバイスなどを提供するきっかけにもなっている。

以上のことから、この事業は良好に実施されたと考える。

【今後の課題等】

本事業は平成26年から継続的に業務を受託しており、各施設の来所者に定着した事業となっている。

前年同様参加者からは、実施回数の増加や他の施設での実施等の依頼がある。また、読み聞かせスタッフ育成するための講座の開催や研修、各団体が交流するための機会を設ける必要があると考えます。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

昨年度より施設ごとに固定化していた読み聞かせ者の派遣先を複数の施設に拡散させ、それぞれの特色を活かした読み聞かせを実施することにより、事業に幅を持たせ、参加者に様々な読み聞かせを楽しむ機会を提供する等、施設への読み聞かせ者の派遣方法に工夫を凝らして開催しており、参加した保護者からは、「読み聞かせを通して、子どもとの係わり方を学ぶことができ、家庭での育児の楽しさが増した。」といった意見が寄せられており、**家庭における情操や言語の発達手法として、読み聞かせが活用されている。**

また、**不特定多数の親子が同じ事業に参加することで、保護者間のつながりが生まれ、子育てに関する地域コミュニティの復興促進に役立っている。**

以上のことから、**本事業は良好に実施されたと認められる。**

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

(平成30年度事業分)

平成31年 3月22日

【受託法人名】

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

【受託業務名】

「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」運動や食事についてのアンケート調査実施業務

【事業概要】

事業内容	子どもたちの運動の状況、生活環境の状況、食事の状況についてアンケート調査により把握し、その内容を評価・分析する。 ・アンケート調査票の作成、印刷、配布、回収、質問への対応。 ・回収されたアンケート調査票のデータ入力、集計、分析及び評価。 ・分析結果及び評価結果を掲載した冊子作成及び各施設への配布。 ・個人アンケート結果をCDに移し、改善のための基礎資料として各施設へ配布。 ・アンケートに御協力いただいた施設等に対し評価結果報告会の開催。
事業費	9,720,000円(H30年度)
意図	子どもたちの普段の運動状況、生活状況、食習慣を把握し、分析することで、運動能力低下及び体重増加の解消など、子どもたちの健やかな育ちを見守るための事業展開の検討に必要となる基礎資料とする。
対象	郡山市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校に在籍する4歳～15歳の子ども(未就学児童については保護者が、小中学生は本人が回答。)
事業実施結果	①調査時期 平成30年 5月～ 6月 ②データ集計 平成30年 7月～ 10月 ③分析・評価 平成30年 11月～平成31年 2月 ④調査・分析結果 別紙のとおり 【アンケート調査実績】 ・対象施設数 194施設(保育所:77施設 幼稚園:32施設 小学校:56施設 中学校:29施設) ・対象者数 31,141人(保育所:1,864人 幼稚園:3,585人 小学校:16,665人 中学校:9,027人) ・回答者数 27,399人(保育所:1,394人 幼稚園:2,594人 小学校:15,909人 中学校:7,502人) ・有効回答者数 27,112人(保育所:1,381人 幼稚園:2,565人 小学校:15,790人 中学校:7,376人) ・有効回答率 87.1%(保育所:74.1% 幼稚園:71.5% 小学校:94.7% 中学校:81.7%)

【事業実施結果による自己評価】

本事業は、平成25年度から継続して実施されており、今回も約 88%の回収があり関係各所からの積極的な協力が得られていることから、本事業の重要性が認識されていると推測される。

継続的に調査が行われていることから、時間的な経過に伴う変化が観察されるようになった。特に、外遊びの時間の減少や、ゲーム・ネットに費やしている時間の延長など、教育保育現場で課題となっている事項が明らかな数字となって判明した。

本調査の結果によって、各現場において、幼児、児童、生徒に対して生活習慣を改善するアドバイスを行える貴重なデータとなっていることから、本事業は良好に実施できたといえる。

【今後の課題等】

昨年以来、決まった時期での調査が行え、現場からの協力が得られた。

しかし、ごく一部の施設では、時間の制約などでばらつきがみられる。結果をより早期にフィードバックするためには、各保育・教育機関へ実施及び提出時期の厳守について、さらに働きかける必要がある。

アンケート結果の報告後、各保育・教育機関から改善に向けたアドバイスを要請する声や、実際の活用事例の報告も少ないことから、本事業がさらに有効に活用できるようにするため、施設側からの要望や活用状況などを聞き取る機会を設けることを検討する必要がある。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

本事業は、震災後の子どもたちの普段の運動状況、生活状況、食習慣を10年にわたり、中長期的に把握・分析することで、子どもたちの健やかな育ちを見守るための事業展開の検討に必要となる基礎資料とすることを目的としており、受託者の自己評価にもあるとおり、6回目となる本年度のアンケート回収率は各施設の協力により88.0%と高く、市内の保育・教育施設に在籍している子どもたちの運動と食事についての実態をほぼ把握することができている。

さらに、アンケート調査報告書の58ページ「食べ物に対する放射性物質への心配」では、「心配がある」「心配がややある」との回答が、男女ともに3割を超えており、未だに放射性物質への不安が払拭されていない状況が続いている。

また、アンケートに御協力いただいた施設の関係者向けに調査結果報告会を開催し、分析結果及びそれに関連する事項について説明し、併せて各施設にデータをフィードバックすることで、各施設において震災に起因すると思われる子どもの運動能力の低下や生活習慣等の改善に関する取組を推進することができ、子どもがより学び、育つことができる環境を好転するための有意義な基礎資料となっている。

このようなことから、本事業は良好に実施されたと認められる。

放課後地域子ども教室事業

放課後等における子どもたちの安全、安心な居場所を設けるとともに、地域住民の参画を得て、学習や体験活動、交流活動に取り組むため、放課後地域子ども教室を開設している。各子ども教室では、地域の行事への参加や、独自の企画を積極的に実施しており、子どもたちの新たな体験活動の場を提供している。

地域子ども教室一覧

H31.3月現在

子ども教室名	開設年月	使用施設	登録児童数(人)	安全管理員数(人)	開所日、開所時間
湖南小	H19.4月	余裕教室	37	16	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日 ※閉所日：土日、祝日、お盆期間 12月24日～1月7日 ・学校開校日：放課後～18時30分 ・長期休業日：7時30分～18時30分 ※上記は標準的な開所時間
熱海小	H20.4月	余裕教室	31	17	
安子島小	H28.4月	特別教室棟倉庫	23	16	
三和小	H28.8月	南校舎集会室	54	26	
御代田小	H29.1月	余裕教室	43	26	
高倉小	H29.4月	余裕教室	21	21	
白岩小	H30.1月	余裕教室	29	15	
合 計			238	137	

取組内容

○学習・読書活動

各子ども教室において、毎日1時間程度、自主学習の時間を設け、安全管理員の見守りの下、学習や読書に取り組むとともに、地域住民や学生ボランティアによる絵本の読み聞かせなどを行った。

○体験・交流活動

子ども教室名	活 動 内 容
湖南小	・料理教室 ・公民館主催事業（七夕飾り作り、昔遊び体験、紙芝居、茶道体験）
熱海小	・公民館主催事業（太巻き寿司作り、バス研修、絵本の読み聞かせと手あそび、ウエルカムボード作り）
安子島小	・公民館主催事業（バス研修、絵本の読み聞かせと手あそび、ウエルカムボード作り） ・座禅体験
三和小	・カルメ焼き作り ・野菜の学習（牛乳パックプランター作り）
御代田小	・木工教室 ・保護者と児童、見守り員の交流会（食事、スイカ割りなど）
高倉小	・レモン電池作り（東北電気保安協会）
白岩小	・ハーモニカの演奏会 ・芋掘り ・昔話 ・レモン電池作り（東北電気保安協会）

湖南子ども教室
(自主学習)



湖南子ども教室
(昔遊び体験)



高倉子ども教室
(レモン電池作り)



地域子ども教室事業評価について

1 アンケート調査結果

H31.2月調査

子ども教室名	登録児童数 (人)	回答者数 (人)	地域行事への参加について				学習・読書習慣について								
			地域行事への参加の有無		今後の地域行事への参加希望		家庭での学習・読書習慣の定着の有無		子ども教室・家庭での学習時間			子ども教室・家庭での読書時間			
			有	無	有	無	有	無	平日		土日	平日		土日	
									教室	家庭		教室	家庭		
湖 南	37	28 (76%)	22 (79%)	6 (21%)	27 (96%)	1 (4%)	19 (68%)	9 (32%)	39	27	53	11	17	27	
熱 海	31	16 (52%)	13 (81%)	3 (19%)	15 (94%)	1 (6%)	13 (81%)	3 (19%)	53	42	90	30	25	29	
安子島	23	18 (78%)	12 (67%)	6 (33%)	16 (89%)	2 (11%)	14 (78%)	4 (22%)	45	20	40	15	12	22	
三 和	54	36 (67%)	27 (75%)	9 (25%)	33 (92%)	3 (8%)	27 (75%)	9 (25%)	31	39	47	5	10	14	
御代田	43	39 (91%)	23 (59%)	16 (41%)	32 (82%)	7 (18%)	31 (79%)	8 (21%)	54	38	65	14	23	30	
高 倉	21	20 (95%)	7 (35%)	13 (65%)	18 (90%)	2 (10%)	11 (55%)	9 (45%)	41	26	53	8	18	22	
白 岩	29	28 (97%)	18 (64%)	10 (36%)	23 (82%)	5 (18%)	14 (50%)	14 (50%)	44	18	48	19	16	37	
合計	238	185 (78%)	122 (66%)	63 (34%)	164 (89%)	21 (11%)	129 (70%)	56 (30%)	43	31	55	13	17	26	

2 目標設定

- (1) 地域行事に参加した児童の割合 80%以上
- (2) 家庭での学習・読書の習慣が身に付いた児童の割合 80%以上

3 効果測定

- (1) 66%
- (2) 70%

4 事業評価(案)

本事業は、放課後等における子どもたちの安全、安心な居場所を設けるとともに、地域住民の参画を得て、学習や体験活動、交流活動に取り組むことを目的としており、各子ども教室において、地域行事への参加や、ボランティアによる学習支援など、独自の企画を積極的に実施した。

各教室において、夏休みを中心に、地域住民や公民館との連携により、様々な体験活動や地域行事への参加を行い、地域コミュニティの形成に役立っている。目標の達成にはいたらなかったものの、今後の地域行事への参加希望は89%であることから、子どもたちと地域住民とのコミュニティ形成のため、子どもたちが地域行事への関心を持つきっかけづくりができたと考える。

また、毎日、宿題や自主学習の時間を設け、安全管理員の見守りのもと、学習活動に取り組み、また、地域住民のボランティアによる絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した結果、子ども教室及び家庭における学習、読書時間については概ね確保されており、目標の達成には到らなかったものの、学習や読書習慣の定着に一定の効果を果たしたものとする。

以上のことから、本事業はおおむね良好に実施されたものと認められる。

郡山市における放課後児童対策事業について

項目	放課後児童クラブ	放課後地域子ども教室
所管官庁	厚生労働省	文部科学省
根拠法令	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法第6条の3第2項、第34条の8 ・新・放課後子ども総合プラン ・郡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 ・郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン ・郡山市放課後児童クラブ事業実施要綱 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第13条 ・社会教育法第5条13項 ・郡山市放課後地域子ども教室開設要項
趣 旨	<p>【生活の場】 保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。</p>	<p>【学びの場】 すべての児童を対象に、安全、安心な活動拠点を設け、地域の参加協力を得て、学習やスポーツ、地域住民との交流等、体験活動の機会を提供する。</p>
開設にあたっての考え方	対象児童 15 名以上の利用希望があり、設置場所等の条件が整った学校から整備する。	放課後児童クラブ入会対象児童の人数が少ない場合に、設置場所や地域のボランティア等の協力体制が整った学校から整備する。
開設校	38 校（H31.4月現在） ※H31.4月 富田小新設、安積第一、大槻小、小山田小増設	10 校（H31.4月現在） ※H31.4月 河内小、宮城小、御館小新設
開設日	月曜日から土曜日 ※閉所日：日曜日及び祝日、 8月13日～16日、 12月29日～1月3日 他	月曜日から金曜日 ※閉所日：土曜日、日曜日及び祝日、 8月11日～17日、 12月29日～1月3日 他
開設時間	学校開校日 放課後～午後6時30分 学校閉校日 午前7時30分～午後6時30分	学校開校日 放課後～午後6時30分 学校閉校日 午前7時30分～午後6時30分 ※上記は標準的な開設時間。地域の実情に応じ、教室毎に設定。
保護者負担	<ul style="list-style-type: none"> ・通常毎月 3,300 円 ・長期休業日(夏休み等)を含む月 3,700 円～5,300 円 ※おやつ代 1,500 円～2,000 円 	<p>無 料</p> <p>※おやつ代 1,000 円～2,000 円</p>
児童への支援	<p>市の支援員が児童へ生活支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日2～5名体制 	<p>地域住民の安全管理員（有償ボランティア）が児童の見守りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日3名体制